

14年 ■ 互師・互弟

1989(平成元)年7月～1990(平成2)年6月

R.I.会長 ヒューM・アーチャー
ガバナー 津田佐兵衛
会長 原田良策
幹事 高森嘉郎

R.I.テーマ■ロータリーを楽しもう！



会長
原田良策

「みどりの森」を伴侶に25年

歳月の流れは早いもので、本年は創立から25周年という意義深い年を迎え、諸兄共々に、この慶事をお祝い申し上げるものでございます。

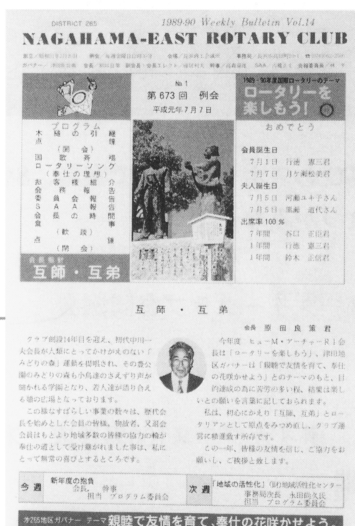
長浜東ロータリークラブが創立されました1976年という年は、経済の成長が安定期に入り、人々の価値観が経済優先から環境の保全が重視され、より高質な環境づくりが問われ始めた時代であったと思います。こうしたなかであって、初代会長中川一夫氏が提唱された長浜豊公園に「みどりの森」という理想は社会的な要求と相まって創立認証状伝達式のその日から、クラブ活動の特別事業として、年々歳々、会員相互の理解と協力のなかで着実に根をおろし、この湖北の土地に緑化推進を相言葉に、心をかよわせて参りました。

私は当クラブのなかに賑々として流れる、親睦と友情と奉仕の理想の原点は「みどりの森」の事業のなかにあると思います。

会長を勤めさせていただきました1989年度～1990年度には、会員各位のご理解と、ご支援により、この湖北に新しい友好クラブが生まれ、奉仕活動の広がりとなりましたことが、つい昨日のように思われ、まことに感慨無量でございます。

長浜東ロータリークラブの明日へ向けての限りない発展を祈りつつ、「みどりの森」を伴侶に25年、今はこの気持ちでいっぱいでございます。

(2001年春)



理事・役員及び委員会構成

14年目

会 長	原田良策（理事）	会 計	土田宣孝（理事）	青少年活動	大塚功三（理事）
副会長、	藤居利夫（理事）	会場監督	古橋正士	直前会長	吉田 茂（理事）
会長エレクト		クラブ奉仕	家森眞一（理事）	みどりの森	大谷治男（理事）
幹 事	高森嘉郎	職業奉仕	栗田 隆（理事）	隣接クラブ連絡	岡野捨男（理事）
		社会奉仕	鹿城鎮夫（理事）	副 幹 事	林 平
		国際奉仕	伊藤正基（理事）		

委員会名		委員長	副委員長	委員
ク ラ ブ サ ー ビ ス	ク ラ ブ 奉 仕	家森眞一		各クラブサービス委員長
	出 席	北川巖	行徳憲三	松原秀雄 速水喜八郎 設楽忠克
	ク ラ ブ 会 報	林平	渋谷治巳	八木清司 鈴木正信 伊吹宏
	親 睦 活 動	中川豊太良	松波征文 中川努	川上忠五郎 尾崎庄助 河瀬純治 松田文雄 吉田豊 川合四郎 中川馨司 森建司 中尾禧夫 岩脇俊雄
	雑 誌	前川甚三	月ヶ瀬松美	吉田輝久 松居繁隆
	会 員 選 考	法戸源治	中島捨雄	塚田英夫
	会 員 増 強	福永勝彦	岡野耕一	大谷治男 岸本雅巳
	プ ロ グ ラ ム	村田武夫	熊谷末男	石黒宏平 河合亮治 長谷幸治 黒瀬晋三郎
	広 報	押谷仁一	大沢一雄	西橋建男
	記 録 編 纂	中川考雄	林平	永井東太郎 高森嘉郎
	職 業 分 類	藤本幸次郎	西濱勲	松本博文
	ロータリー情報	吉田茂	森島英祐	土田宣孝
	規 定 審 議	山田芳彦	菅原右一	塚田英夫 小山仁朗
	ソングリーダー	大塚勝	森建司	松田文雄 福永勝彦 大塚敬一郎
	職 業 奉 仕 委 員 会	栗田隆		長岡透
社 会 奉 仕 委 員 会	就 職 相 談	西濱勲		三好俊朗
	職 業 指 導	宮川将蔵		大塚勝
	職 業 情 報	長岡透		川瀬久弥
	職 業 活 動 表 彰	栗田隆		長岡透
環 境 保 全 委 員 会	環 境 保 全	丁野恵鏡		丁野恵鏡
	社 会 安 全	石崎章		大谷治男
	高 齢 者	青木吉弥		中川友一
	ロータリーボランティア	澤直樹		安達俊朗
国 際 奉 仕 委 員 会	青 少 年 交 換	澤直樹		村田武夫
	国 際 奉 仕 委 員 会	伊藤正基	角谷千代雄	
	ロータリー財団	細江代三	大塚敬一郎	大西一男
	米 山 奨 学	谷口正臣	高山泰雄	安達俊朗（米山奨学生カウンセラー）
青 少 年 活 動 委 員 会	青 少 年 交 換	角谷千代雄	国友美丸	中川安治
	青 少 年 活 動 委 員 会	大塚功三	中川安治	
	青 少 年	国友美丸	西浜久平	澤直樹 木船法圓
	会 場 監 督	古橋正士	林浩平	石黒宏平 吉田宏
特 別 委 員 会	会 計	土田宣孝	細江代三	
	拡 大 委 員 会	河瀬純治	安達俊朗	菅原右一 熊谷末男 鹿城鎮夫 中川豊太良
	み ど り の 森	大谷治男	鹿城鎮夫	家森眞一 森島英祐
	隣 接 ク ラ ブ 協	岡野捨男		岸本雅巳 河瀬純治

滋賀湖北ロータリークラブ誕生までの歩み

長浜を中心とした、湖北一市三郡は、長浜に片寄ったロータリークラブしかありません。従って地域に対する活動も長浜周辺に片寄っております。地域に大きく貢献するロータリークラブを湖北の地に結成する事が地域の活性化にとって、必要な事であるとの考えから1989年7月7日、長浜東ロータリークラブ内に、河瀬会員を委員長とする、6名のクラブ拡大研究委員会が発足されました。地区における積極的な拡大方針に対し、6月の地区拡大委員会開催迄に、クラブの見解統一の必要があるとして、直ちに（5月31日）パスト会長会が持たれ、結論として、机上論でなく、研究委員会として行動すべしとの意見が大勢を占めました。6月の地区拡大委員会における津田ガバナー、西島拡大委員長の熱意溢れる御示唆、御指導により、第1回の定例理事会に於て設置決定、同年8月4日例会にて発表し、スタートを切りました。

その後、研究委員会の綿密、正確、迅速な行動の結果、急速にクラブ結成の気運が昂まり、10月6日定例理事会に於て、次の通り決定されました。

(1) 湖北に新クラブを結成し、長浜東ロータリークラブがスポンサーとなる。地域は、東浅井郡、伊香郡全域とする。

(2) 研究委員会を、拡大委員会に発展改称させる。委員長に河瀬、委員に安達、鹿城、熊谷、中川豊、西濱、森島、土田の各会員を選出。

11月28日の臨時理事会に於て、ガバナー特別代表候補者に岡野捨男君が推薦され、12月1日津田ガバナーより任命書が伝達されました。

委員会は、1989年10月13日を皮切りに、1990年3月2日まで、35回開催され、広範な実務を正確、精力的に遂行、また、拡大便覧指示を余す所なく消化すると共に、会員候補者に対し十分なロータリー情報を提供しました。

(A) 準備会議 第1回 11月29日 第2回 12月28日 第3回 1月18日

(B) 結成グループ会議

第1回 1月27日 キーメン候補者を長浜東ロータリークラブ例会に招待。

第2回 2月 7日 創立会員候補者初顔合せ。

(C) キーメン会議

第1回 1月18日

第2回 2月 2日 会長、幹事、理事予定者及び、委員会構成を仮決定。

以上の如き経過で出来上がった新クラブのアウトラインは、次の通りです。

(1) 名称……滋賀湖北ロータリークラブ

(2) 区域限界……東浅井郡、伊香郡全域

(3) 例会日時……毎週火曜、AM12:30~13:30

(4) 例会場……高月町商工会館

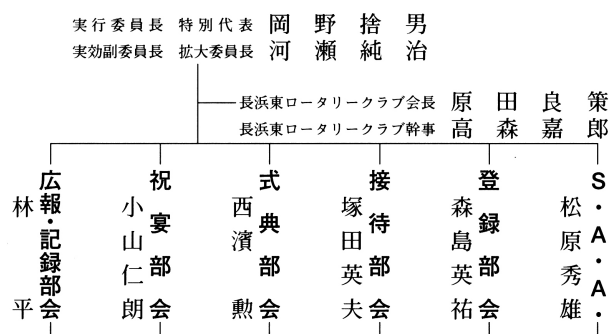
(5) 事務局……当分の間カシロ産業（株）内

2月2日、拡大委員会に於て、創立会員43名を決定。

年齢69歳~33歳、平均49.88歳 2月14日、第1回の模擬例会を行い、2月21日第2回模擬例会の後、新クラブのリハーサルを行い、2月28日第3回模擬例会、3月7日創立総会を開催し、直ちにR.I.への加盟申請を行い、3月27日正式加盟の認証状收受。6月3日に600余名のご参加のもとに盛大裡に認証状伝達式が挙行されました。

特別代表 岡野捨男 会長 原田良策 拡大委員長 河瀬純治

創立総会の組織





- 8. 4 石田三成公屋敷跡に野外放送設備を贈呈・長浜市石田町
- 4～9 日米親善少年野球大会、米国チームを出迎え・大阪空港
- 6 日米親善少年野球大会、地元少年と交流試合・豊公園自由広場
- 8 竹生島及び市内観光・夜はさよならパーティ・北ビワコホテル住文
- 9 お別れ行事をホームステイ家族の皆さんと・長浜市役所前
ロータリーの友事務所より浅見勇氏取材に来浜、7～9日
- 10.25 快適シンポジウム全国大会協賛と代表者懇談会、文芸会館・ロイヤルホテル
- 11. 3 豊公園みどりの森清掃、夫人同伴72名
文化の日、みどりの森事業に感謝状受賞、原田会長・市役所
- 10 ガバナー公式訪問
津田ガバナー・石原地区副幹事・西島地区拡大委員長と会長・幹事・河瀬・安達、
拡大についての懇談
- 12.18 職業奉仕委員会、地域内高等学校（8校）に冊子を寄贈
「ビジネス・マネー・エチケット」300冊
- 3. 7 滋賀湖北ロータリークラブ創立総会・ホテルブリオール
- 5.25 みどりの森特別例会、長浜市へ「みどりの森基金」贈呈、苗木の配布30本